

宮城県庁

「守り勝つ野球貫けた」

東北福祉大 7年ぶりの全日本V報告

東京・神宮球場で15日に決勝が行われた全日本大学野球選手権で、7年ぶり4度目の優勝を果たした東北

福祉大硬式野球部の選手と監督らが20日、宮城県庁の伊藤哲也副知事を表敬訪問した。

山路哲生監督は「選手が試合ごとに成長し、周囲への感謝の気持ちを結果で表してくれた」とあいさつ。



伊藤副知事に優勝を報告する東北福祉大の仲宗根主将（右から3人目）

仲宗根主将は「逆転されても諦めず、守り勝つ野球を貫き優勝できたのでうれしい」と述べた。

伊藤副知事は「7年ぶりの栄冠を県民は誇りに思っている。秋の神宮大会制覇に向けても全力で応援したい」とたたえた。

県は同日、「優勝おめでとう」などと書かれた祝賀パネルを県庁1階ロビーに掲出した。

野球部はこの日、仙台市役所も訪問した。